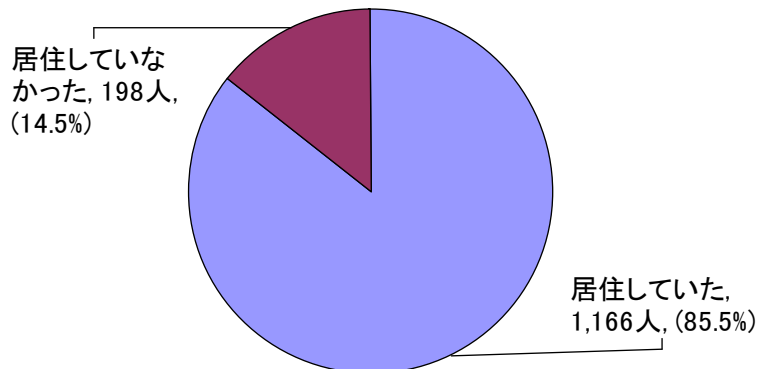


申出書の集計結果の概要

(1)震災前の居住区域について(N=1,364)

被災時に移転対象地区内に居住していたかどうかについて、居住していたが1166人(85.5%)、居住していなかったが198人(14.5%)となっている。

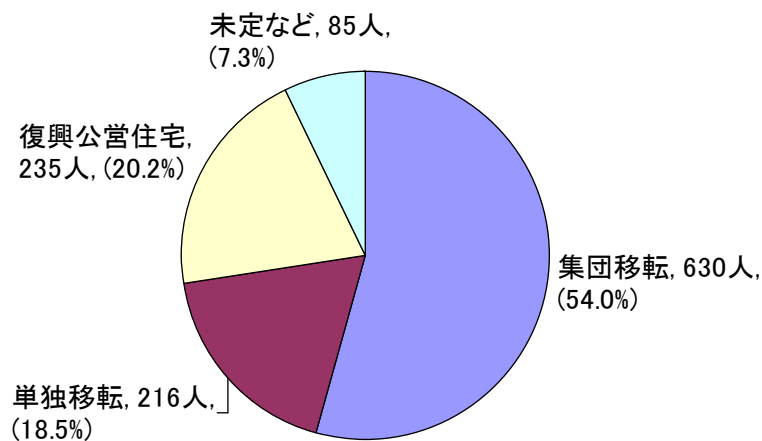
※グラフ数字は、回答人数と(%)



(2)住宅の再建方法(被災時に移転対象地区[災害危険区域]に居住していた方のみ対象)(N=1,166)

移転対象地区内において、住宅の再建方法は、集団移転が630人(54.0%)、単独移転が216人(18.5%)、復興公営住宅が235人(20.2%)となっている。

※グラフ数字は、回答人数と(%)

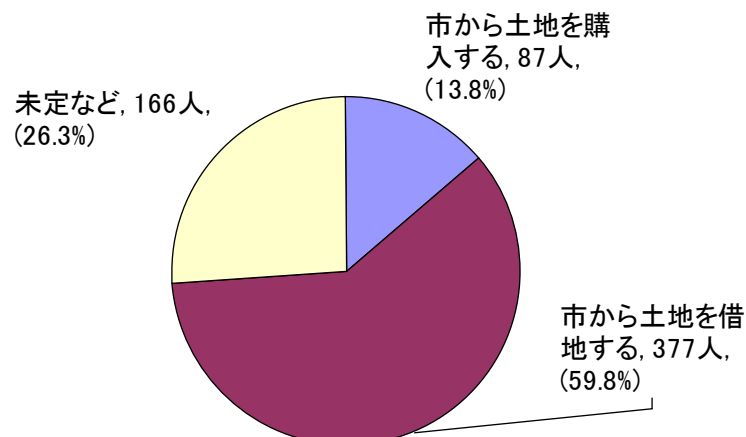


(3)集団移転

①土地の所有形態: 集団移転を選択した方のみ対象(N=630)

土地の所有形態は、市から土地を借地するが377人(59.8%)、市から土地を購入するが87人(13.8%)となっている。

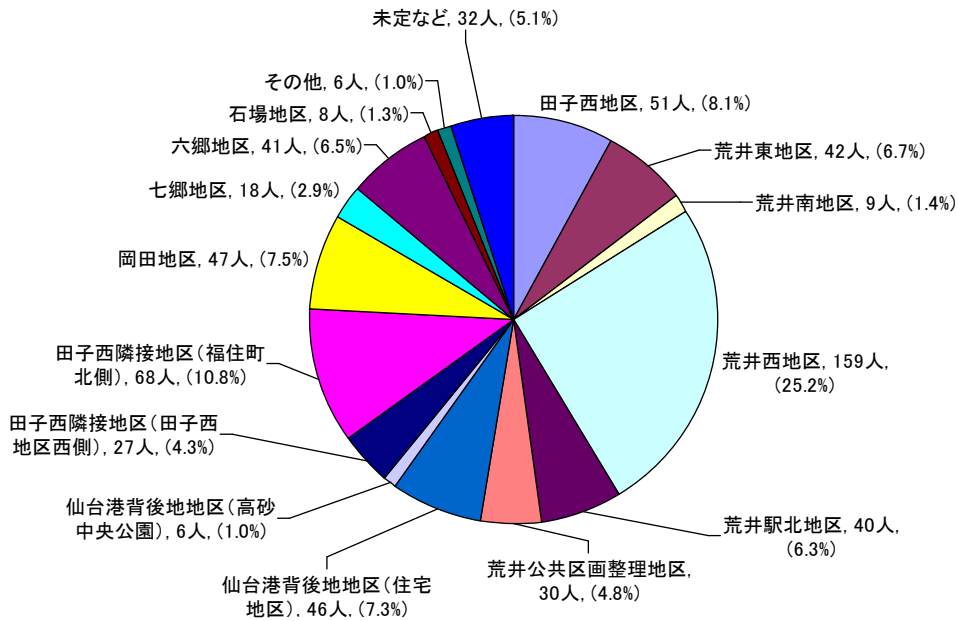
※グラフ数字は、回答人数と(%)



②移転希望場所(第一希望) (N=630)

移転先希望場所(第一希望)市街化区域は、荒井西地区が159人(25.2%)、田子西隣接地区(福住町北側)が68人(10.8%)となっており、市街化調整区域は、岡田地区が47人(7.5%)、六郷地区が41人(6.5%)となっている。

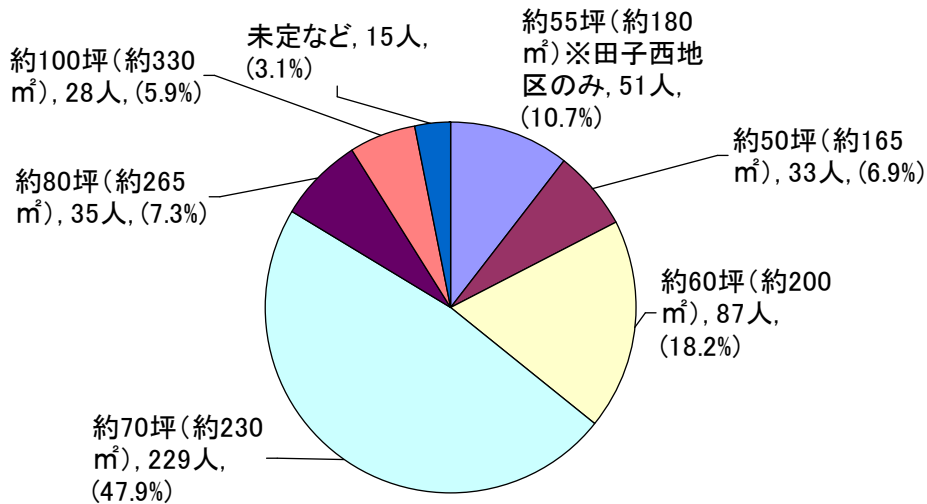
※グラフ数字は、回答人数と(%)



③希望する土地面積(第一希望)市街化区域(N=478)

市街化区域内の希望する土地面積(第一希望)は、約70坪(約230㎡)が229人(47.9%)、約60坪(約200㎡)が87人(18.2%)となっている。

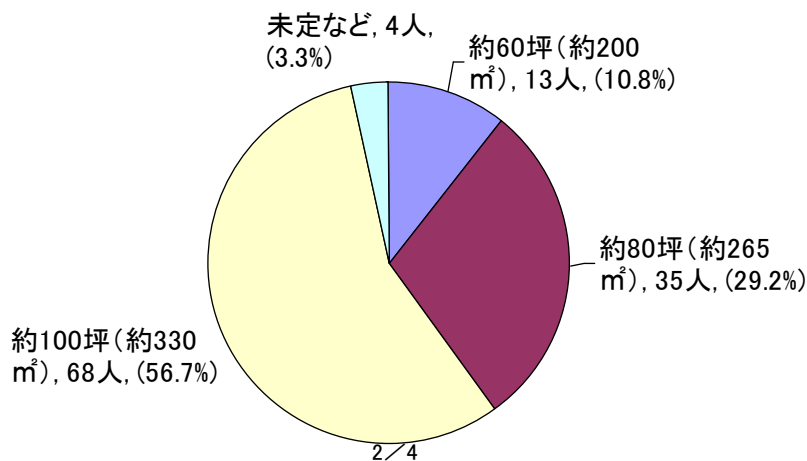
※グラフ数字は、回答人数と(%)



④希望する土地面積(第一希望)市街化調整区域(N=120)

市街化調整区域内の希望する土地面積(第一希望)は、約100坪(約330㎡)が68人(56.7%)、約80坪(約265㎡)が35人(29.2%)となっている。

※グラフ数字は、回答人数と(%)

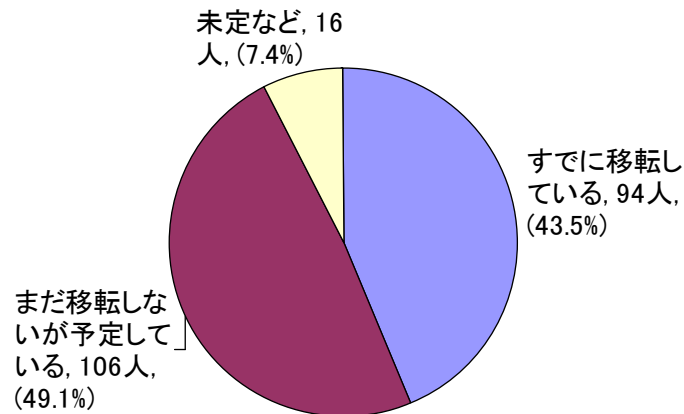


(4)単独移転

①移転の時期 (N=216)

移転の時期は、まだ移転しないが予定しているが106人(49.1%)、すでに移転しているが94人(43.5%)となっている。

※グラフ数字は、回答人数と(%)

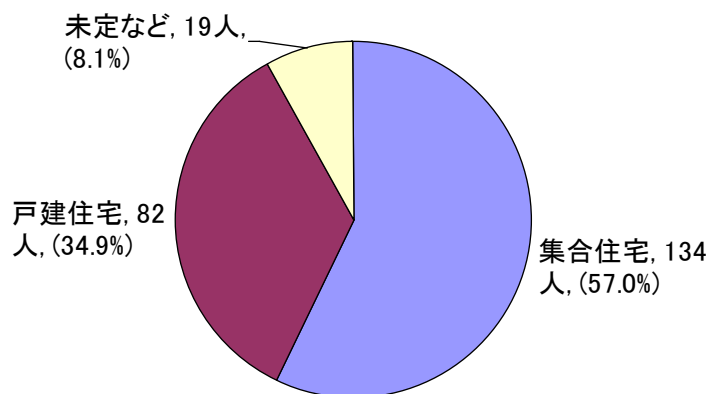


(5)復興公営住宅

①復興公営住宅の形式 (N=235)

復興公営住宅の形式は、集合住宅が134人(57.0%)、戸建住宅が82人(34.9%)となっている。

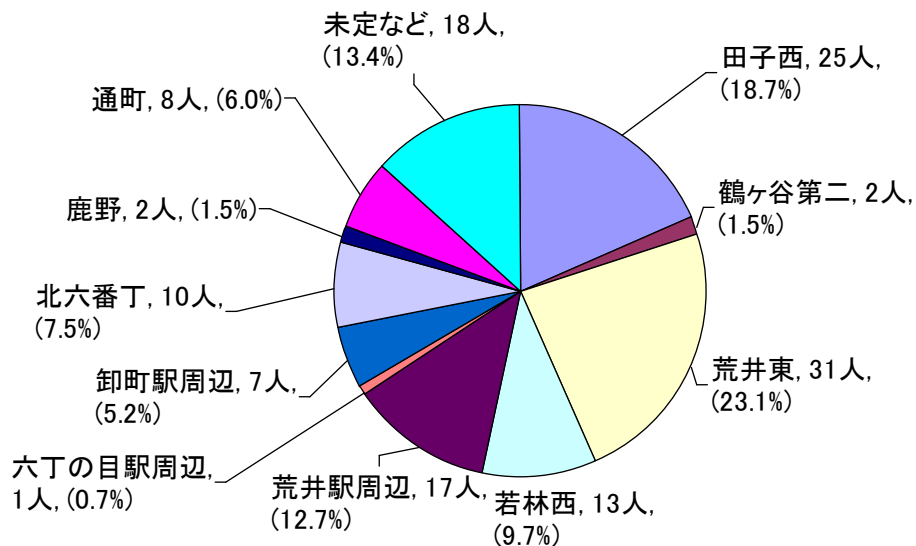
※グラフ数字は、回答人数と(%)



②入居希望場所(集合住宅) (N=134)

入居希望場所(集合住宅)は、荒井東が31人(23.1%)、田子西が25人(18.7%)となっている。

※グラフ数字は、回答人数と(%)



③入居希望場所(戸建住宅) (N=82)

入居希望場所(戸建住宅)は、田子西地区が16人(19.5%)、荒井西地区が14人(17.1%)となっている。

※グラフ数字は、回答人数と(%)

